

アスレティックトレーナー教育に関する研究



【千葉キャンパス】健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科
トレーナー・スポーツコース 講師

西山 朋 Nishiyama Tomo

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)



キーワード : アスレティックトレーナー教育・アスレティックトレーニング学・
アスレティックトレーニング教育・学生トレーナー

研究の概要

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(以下 JSP0-AT)の養成事業には、養成コースと免除適応コースがある。大学教育では免除適応コースとして養成事業に取り組んでおり、JSP0-AT 養成講習専門科目カリキュラムに則った 600 時間以上の教育時間に加え、180 時間以上の現場実習を修了することが必要とされる。

現場実習は、学内のリコンディショニングルームや部活動実習、また、学外のスポーツイベントやチームサポートにて実施している。

実際のスポーツ現場で選手をサポートすることは、JSP0-AT を志す学生にとっては非常に貴重な実践経験の場となっており、JSP0-AT 教育にとって、最も必要で、最も重要である(泉, 2011)。

その一方で、1 年間のトレーナー活動では経験することができない項目が存在し、また、実践経験が大幅に不足する項目があるとの報告もある(佐保ら, 2021)。

これらの観点から、JSP0-AT 教育における現場実習の具体的方法と教育効果の検証について研究している。

SDGs 目標 3 : すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 4 : 質の高い教育をみんなに



現場実習に向けた練習の様子



現場実習の様子

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

JSP0-AT の社会的役割は拡大している。その職域は、スポーツ選手のサポートだけでなく、子供から高齢者までの健康管理にまで及んでいる。現場実習において様々な経験を積むことで、資格取得後、多様なニーズに対応できる JSP0-AT の育成に貢献できると考える。

知的財産・論文・学術発表など(詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください)

「JSP0-AT 教育における「搬送」技術取得に向けた多方面からのアプローチ」